

こおりやま広域圏移住体験ツアー 2025 秋

「人と自然に癒される、地域とつながる交流ツアー！」

石川町・浅川町 9月27日(土)～9月28日(日)

<1日目>

郡山駅集合(9:50) ➡ 千五沢ダムの見学 ➡ 農園 Cafe やい子ばあちゃんにて地元食材を使ったランチ ➡ 「ひとくらす」にて木育教室・先輩移住者の元地域おこし協力隊の竹原司さんのお話 ➡ 文教複合施設「モトガッコ」の見学
➡ 宿泊施設(高蔵内源泉)へ ➡ 高蔵内源泉にて地域の方との交流会

いよいよ、こおりやま広域圏移住体験ツアー秋コースのスタートです！1本目は、石川町・浅川町で開催されました。

朝 9:50 に郡山駅西口。最高気温 28 度とまだまだ夏の暑さ。5 歳、7 歳、11 歳、12 歳の 4 人のお子様を含め、10 名の参加者が東京と茨城から集まりました！夏を思わせるようなとてもいいお天気の中、1 日目のコース、石川町へ出発です。石川町まではバスで約 50 分、お子様たちもとても元気です。

○石川町 千五沢ダムの見学

木々がうっそうと茂る道を抜けると、千五沢ダムへ。石川町役場の移住担当、清水さんが待っており、ダムをご案内いただきました。昨年度一般開放されたばかりの見晴らしのいいダム。ここでは敷地の有効活用として、キャンプフェスや野外シアターなどさまざまなアイデアが生まれているそう。フェス好きの参加者の方は、11 月に行われるキャンプフェスにぜひ参加したい！と石川さんとお話されていました。



○石川町

農園 Cafe やい子ばあちゃんにて地元食材を使ったランチ

いよいよランチです。

里山に囲まれ、築百年の古民家の一部を改装した農園 Cafe やい子ばあちゃんは、取れたての野菜を使った料理が、観光客にはもちろん、地域の方にも大人気の場所です。

これから2日間一緒に過ごす参加者たちは、ニックネームをネームプレートに記入して、簡単な自己紹介。

役場の清水さんから、石川町の移住施策についてのご案内や、やい子ばあちゃんからもご挨拶いただき、いよいよ皆でランチのおはぎ作り。

お米をくるくるまとめ、えごまのパウダーにつけていく作業に子どもたちも夢中です。畑で取れたての色鮮やかな野菜がところ狭しと並び、ビュッフェ形式で好きなものを取りながら、ハンバーグや福島の素材のおいしさ、菊や芋のつるなど地元の普段料理を満喫しました！この地で育ったものを食べているという実感を感じることができました。



○石川町

「ひとくらす」にて木育教室・先輩移住者の元地域おこし協力隊の竹原司さんのお話

次に訪れたのはひとくらす。森に囲まれた小学校を活用した、「火」と「暮らし」をテーマにした、様々な体験や学習機会を提案する施設です。2グループに分かれて施設内を見学。

木の香りがする素敵な施設。宿泊もできるということで、次に来るときにはぜひ泊まってみたい！という声も。

石川町の桜や檜(ひのき)など、林業で出た廃材を使った木のキーホルダー作り。木育インストラクターとしても活躍する、地域おこし協力隊の竹原さんたちに教えて頂きます！

石川町に1ターンで移住した竹原さん、東京の大学で学んでいた時に、林業の講習で20日間ほどこちらに滞在した際に、ひとくらすの三森さん始め地域の方の温かさに触れ、祭りに参加して地域の人たちと深く関わったり、森に囲まれた自然豊かな環境に魅せられて、ついに、大学卒業後すぐに石川町へ引っ越してきました！

キーホルダー作りでは、好きな種類の木の破片を選び、やすりで擦って形をなめらかに整えていく作業を通じて木に触れあい、木の香に包まれ、ぐっと身近に感じることができました。

好きな色の紐を選んでキーホルダーやネックレスのできあがり。

皆さん、世界に1つだけのオリジナルキーホルダーを使う度、きっとひとくらすやスタッフの皆さんを思い出すことでしょう。



○石川町

文教複合施設「モトガッコ」の見学

次は石川町最後の行程。廃校になった小学校を活用した、公民館・図書館・屋内遊び場を兼ね備えた施設である元学校＝モトガッコです！

元校庭にはアスレチック施設が並び、子供達が走り回って伸び伸びと遊んでいる姿が印象的でした。東京ではこんなに広々とした空間で走り回る機会ほとんどない、との声もあがり、笑顔で息を切らしている姿に大人まで自然に笑顔に。

学校の施設をくまなく活かしたつくり、施設を巡りながら皆さん感心することしきり。

週末ということもあり、屋内あそび場で楽しむ地域の子供たちや、図書館で本を読んだり勉強している学生や大人の方など、町民の方々が施設を使っている様子も目にして、地域の拠点となっている姿を具体的にイメージすることができました。二拠点など、リモートワークのオフィスとしても活用できそうです！



○石川町

高蔵内源泉にて地域の方との交流会

太陽の日差し降り注ぐ中、たくさん走り回った子どもたちや皆さんは、母畑温泉郷にある本日の宿「癒しの湯 高蔵内源泉」にチェックイン。

日中ご協力いただいたひとくらすの三森さんや地域おこし協力隊の竹原さん、役場の清水さんや明日訪れる浅川町の役場の菊地さん、地域おこし協力隊の芳賀さんや上野さんにお集まりいただき、夕食を食べながら交流会。

明日の浅川町の予習として、菊地さんより浅川町についても語っていただきました。

交流会では、一緒に美味しい夕食を食べながら、地域おこし協力隊の方の取り組みや、参加者の方がやってみたいことをこの町でどうやって実現できそうか？など単に話を聞くだけでなく、双方向のやり取りをすることで、より具体的に次のステップを考えたり、また、地域のいいところやおススメ

スポットを聞くことで、次は家族を連れてこういう旅行をしたい、など徐々に皆さんが地域のファンになっていく様子を実感しました！



<2日目>

宿出発(9:00) ➡ 吉田富三記念館で「身に魔除花火」を手作り&先輩移住者のお話
➡ 信号雷の打ち上げ ➡ 浅川町歴史民俗資料館の見学 ➡ 「天麩羅まるみ」にてランチ
➡ 大野農園 ORAGENO(オラゲーノ)にてカフェとお買い物 ➡ 乙な駅 たまかわにて見学・お買い物 ➡ 郡山駅(16:00 頃)

2日目スタート。本日は浅川町をメインで巡る1日です。

○浅川町

吉田富三記念館で「身に魔除花火」を手作り&先輩移住者のお話

浅川町出身の病理学者、癌研究で世界的に知られる吉田富三の記念館で身に魔除花火を皆で作ります。花火の里として知られる浅川町。魔除けや縁起物として花火の殻を軒下につるす風習があったそうです。そんな「身に魔除け花火」のミニチュア版のキーホルダーを、商工会の方達に教わりながら作成。文字の書かれた薄い紙を球状のキットに貼り付けていきます。

細かい作業ですが、昨日の木のキーホルダー作成に続き、今日も皆さん真剣。

作成後は、記念館で吉田富三さんの展示を見学、その後、地域おこし協力隊の上野さん、芳賀さんのお話を車座になって聞きました。

芳賀さんも上野さんも、もともと浅川町の出身。東京で暮らしていましたが、Uターンで戻ってきた方々です。今は地域の活性化のために力を発揮。クラシックカーのフェスを行ったり、蔵を譲り受けてカフェやゲストハウスを作ったりなど、様々な取り組みを行っています。参加者からは地域おこし協力隊の制度や内容について、ご質問があがりました。

「未来があってとてもワクワクしました！こういう仕掛ける仕事っていいなと思いました。」という感想もいただきました。



○浅川町 信号雷の打ち上げ

先輩移住者お二人のお話のあとは、外に出て信号雷の打ち上げです。
信号雷とは、運動会やお祭りの時に、開始の合図などで使われる花火の一種です！
青年会の須藤さんが法被を着て、皆の前で打ち上げてくれました。
大音量の火薬の匂い、お子様たちは耳を押さえながらもワクワク。
空から落ちてくる欠片を走って取りに行く子どもたち。楽しそうでした。
こんな身近で信号雷を見ることってないですよ！



○浅川町 浅川町歴史民俗資料館の見学

ここでも法被を着た須藤さんからご紹介いただきます。
「花火の里あさかわ」と言われる町だけあって、花火の歴史的な資料や、花火製造の秘伝書、手づくりの製造器具などを見学。
浅川町では夏だけではなく年4回花火が打ち上がること、青年会の方たちが花火大会を主催していること、みな免許を持っていて自分たちで打ち上げること、ご先祖様や故人を供養するための慰霊の花火の意味合いがあること、など、浅川町と花火の強い結びつきを感じさせられました！



○浅川町

「天麩羅まるみ」にてランチ

水郡線の浅川駅のすぐそばにある「天婦羅まるみ」。

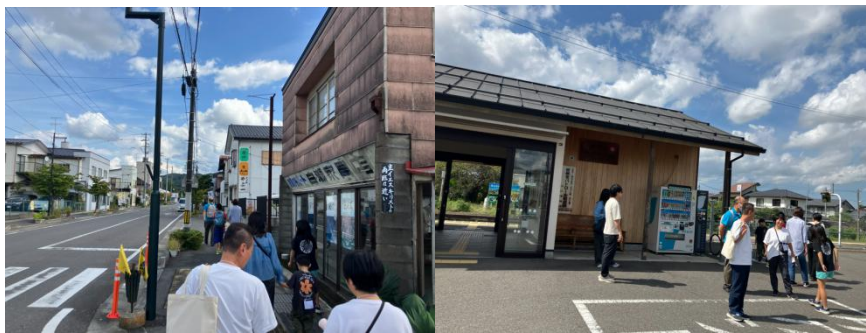
お店へ向かいがてら、皆で駅に立ち寄ります。時刻表を見つつ、水戸からまっすぐ来れるアクセスのよさを実感したり、自転車をそのまま載せられる電車と聞いて驚いたり。

駅から歩いてすぐの「天婦羅まるみ」では、人気の天婦羅定食を。

花火の里だけあって、パチパチと光る花火と一緒に提供される演出にみな感嘆！

青年会の須藤さんや先輩移住者の芳賀さん、上野さんも一緒に囲んでのランチです。

「お米の美味しさが際立ってる！天ぷらも美味しいし、花火の演出も素晴らしかった」との声をいただきました。



○石川町

大野農園 ORAGENO(オラゲーノ)にてカフェとお買い物

浅川町の皆さんに手を振って見送られ、石川町の大野農園 ORAGENO へ。

果物の宝庫である福島県。ここでは、農園で作っているみずみずしい桃・梨・りんごを山盛り売っていて、本当に美味しそう。おしゃれな店内は果実を加工した商品やテイクアウトやカフェで召し上がれる果物のジュース、アップルパイ、ピザなどが人気！

桃や梨のジュースをいただきながら、外のカフェで代表の大野様にお話を伺います。

お店を作った経緯や今後の展開などをインタビュー形式で伺いました。、お買い物に来てもお店を作った方の想いを聞く機会はめったにないと思いますので、作り手の想いを直接伺ういい機会になりました！



○玉川村

乙な駅 たまかわにて見学・お買い物

帰りの郡山駅へ向かう道中、「乙な駅 たまかわ」に立ち寄りました。

隈研吾さんのおしゃれな雰囲気の漂うお店。

日本の滝百選にも選ばれた、阿武隈川唯一の滝「乙字ヶ滝」がすぐ隣にあり、滝までてくてく散歩したり、交流会で石川町の清水さんからおススメされた、山葡萄玉ようかんを発見してご購入された方も。



郡山駅へ向かうバスの中では、「観光では絶対来れない場所や人と出会うことができた」「自分だけでは絶対来なかつただろう場所で、すごくいろいろ知ることができた。」「地域のみなさんの人柄もすごくよくてまたのんびり来たいなと考えている。」などのお言葉をいただきました。

今回のツアーをきっかけに石川町・浅川町へまた足を運んでいただき、あらたな魅力を発見していただけたらうれしいです！

ご参加いただき、ありがとうございました！